

事業の概要

当社グループの事業は、ミニチュア・小径ボールベアリングやロッドエンド&スフェリカルベアリング、ファスナー及びピボットアセンブリーを主要製品とする機械加工品事業セグメント(当会計年度売上高比率 31.0%)と、液晶用LEDバックライト、ハードディスクドライブ(HDD)用スピンドルモーターや、ステップモーター、DCブラシレスモーター、DCブラシ付モーター、ファンモーター等のモーター、計測機器等を主要製品とする電子機器事業セグメント(同 68.7%)、金型及び内製部品を主要製品とするその他事業セグメント(同 0.3%)により構成されています。

製品開発は、主に日本、ドイツ、タイ及び米国で行っています。生産は日本、タイ、中国、米国、シンガポール、マレーシア、カンボジア、フィリピン、ドイツ、チェコ及び英国などで行っています。当社グループ最大の生産拠点であるタイの生産高が連結生産高に占める比率は61.1%(当会計年度)であり、これに次ぐ中国での生産高は20.2%(同)です。日本を除くアジア全体の生産高は85.3%(同)であり、海外全体の生産高は94.1%(同)です。

当社グループ製品の主な市場は、OA及び通信機器(当会計年度売上高比率 33.9%)、PC及び周辺機器(同 20.3%)、自動車(同 11.7%)、家電(同 8.7%)、そして航空宇宙(同 8.5%)などです。これら製品のメーカーである当社グループの顧客は、日米欧のほか中国を中心にアジアで生産を拡大する企業が多いため、当社グループの地域別売上高は中国(香港を含む)が最も多く、連結売上高に占める比率は32.9%(当会計年度)、次いで日本が21.6%(同)、タイが14.1%(同)、他は欧州、米国等となっています。

戦略の概要

当社グループは高付加価値製品の開発を含めた従来製品の一層の収益向上と、機械加工製品技術と電子機器製品技術が融合された複合製品事業も含めた事業ポートフォリオの再構築を検討し、製造、営業、技術及び開発の、領域を越えた総合力の発揮により、「顧客要求対応力」と「価格対応力」の強化に努めます。さらに、地域的なリスク検討を行いながら、大規模な海外量産工場の展開と研究開発体制を整備するとともに、M&A・アライアンスを通じて、事業ポートフォリオの再構築及び企業価値の拡大を積極的に進めていきます。

これらを具体的に推し進め、業績の一層の改善をはかるため、これまで「5本の矢」戦略を発表し、その執行に取り組んできましたが、既に一部の目標につきましては達成済み又は近く達成することが確実となったため、次のとおり、新たに2018年3月期を目標とする新「5本の矢」の戦略を設定します。

1. ボールベアリングの外販目標数量を月平均1億8千万個とする。

ベアリング事業では順調に販売拡大が進み、既に単月ベースでは外販1億5千万個を達成しています。今後徹底的な市場の掘り起こしと新用途の開発により月平均1億8千万個の外販を目指します。

2. 複合製品の開発、拡販を行い、“Electro Mechanics Solutions®”をさらに加速する(®は日本の商標登録です)。

既に計画を上回る実績をあげていますが、より複雑化、高難度化する複合製品に向けた技術力を確立することにより、さらなる新製品の開発と拡販を目指します。

3. 照明器具及びその部品の事業基盤を確立する。

新たに資本提携したパラドックス社のワイヤレス通信技術と当社の光学、精密加工技術を融合し、スマートシティ、スマートアジャスタブルLEDライト(SALL)等の事業を進めます。

4. 計測機器関連製品の年間売上目標を500億円とする。

ザルトリウスメカトロニクスT&Hグループの買収により年間売上目標を従来の200億円から500億円に引き上げます。

5. 航空機部品事業の売上目標を700億円とする。

買収したセロベア社とグローバル・プレゼンスを生かしたシナジー効果の最大化により、民間航空機向け需要の掘り起こしと新型モデルへの対応を行い、ロッドエンドベアリングなどの航空機部品事業として700億円の売上を目指します。